

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第18号
発行日：令和6年3月15日

調査日 令和6年3月13日（水）
調査圃場 39圃場（軟弱、にら、ねぎ、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、農薬・肥料メーカー
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	少	並	ランマン フロアブル	100～ 300L/10a	2000倍	収穫3日前 まで	3回以内
	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫3日前 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	並	グレーシア乳剤		2000～ 3000倍	収穫7日前 まで	2回以内
たまねぎ	アザミウマ類	少	並	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)		2000倍	収穫7日前 まで	3回以内
	べと病	少	増	アミスター20 フロアブル	2000倍	収穫前日 まで	4回以内	

★たまねぎ ベと病の予防をしましょう！

・今後はべと病発生の好適な環境（気温15℃前後で曇雨天日が続く）になる予報となっており、発生が懸念されます。

- ①隣接株に比べ草丈が低い
- ②葉色が部分的に黄色
- ③葉が湾曲している



上記のような症状のある株は感染の可能性がありますので直ちに抜き取り、ビニール袋に密閉し、圃場の外で処分しましょう。

・防除を未実施の圃場は、見回りをし、上記の抜き取りを実施するとともに、早めに予防のため薬剤散布をしましょう。

★病害虫の発生初期を見逃さないようにしましょう

・今回の巡回では病害虫の発生はあまり確認されませんでした。今後はハウス・トンネル栽培を中心に病害虫の発生が増加する時期になります。注意しながら圃場を確認して下さい。

★施設の換気を心がけましょう！

・施設栽培では、保温のためハウスを閉め切ると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気を心がけましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第17号
発行日：令和6年2月16日

調査日 令和6年2月14日（水）
調査圃場 45圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	少	並	レーバスフロアブル	100～ 300 L/10a	2000倍	収穫3日前まで	2回以内
キャベツ	菌核病	少	並	アフェットフロアブル		2000倍	収穫前日まで	3回以内
ブロッコリー	べと病	少	並	アミスター20フロアブル		2000倍	収穫前日まで	3回以内
たまねぎ	べと病	少	並	リドミルゴール FMZ ※1		500～ 1000倍	収穫7日前まで	3回以内
	白色疫病	少	並					
いちご	灰色かび病	中	並	パレード20フロアブル	2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内	

※1 ジマンダイセン水和剤との合計使用回数に注意！

★病害虫の発生初期を見逃さないようにしましょう！

- ・今回の調査ではいくつかの品目で病害の発生が確認されました。今後は気温の上昇と平年以上の降雨が予想されています。ハウス・露地問わず、病害虫の発生増加が予想されますので、病害虫の発生初期を見逃さず、適期防除に努めましょう。
- ・ハウス内の温度上昇、多湿に注意し、適宜換気を行ってください。

★栽培日誌を記帳しましょう

- ・各栽培ごとに、栽培日誌の様式に従って出荷開始・終了日まで日々の作業内容を控えておきましょう。
- ・栽培日誌は要請があればいつでも提出できるように準備し、家族等にもその所在を周知しておきましょう。
- ・日誌の記帳についてわからないことがあれば、各支店営農担当者へご相談ください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第16号
発行日：令和6年1月12日

調査日 令和6年1月10日（水）
調査圃場 41圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	べと病	少	並	アリエッティ 水和剤	100～ 300 L/10a	1500倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	べと病	中	並	アミスター20フ ロアブル		2000倍	収穫3日前	4回以内
ブロッコリー	黒すす病	少	並	パレード20フ ロアブル		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
たまねぎ	べと病	少	並	ジマンダイセン 水和剤 ※1		400～ 600倍	収穫3日前 まで	5回以内
	白色疫病	少	並			400～ 500倍	収穫3日前 まで	5回以内
いちご	ハダニ類	少	並	グレーシア乳剤 ※2	2000倍	収穫前日 まで	2回以内	

※1 リドミルゴールドMZとの合計使用回数に注意！

※2 天敵ダニに影響の可能性あり！

★べと病に注意！未発生の圃場は予防を心がけましょう！

《ほうれんそう》各地区で発生がみられています。定期的な予防と、発生を確認した場合は早めの対応を心がけましょう。

《たまねぎ》べと病は感染力が非常に強く、胞子は風によって遠くまで飛散するので注意が必要です。罹病株を見つけた際はすみやかに抜き取った後焼却等による処分をし、薬剤散布を行ってください。定期的な薬剤防除として、1月中に1回目を実施するようにしてください。

★ブロッコリーの花蕾の傷みに注意！

凍害による腐りや、黒すす病による花蕾の傷みが発生しています。出荷の際は注意して確認しましょう。花蕾の傷みが病気によるものである場合、葉などに病斑がみられることが多いです。その際は残渣に菌が残るので、圃場外に持ち出して処理するか、細くなるようしっかりすき込み、アブラナ科等の連作を控えましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第15号
発行日：令和5年12月20日

調査日 令和5年12月13日（水）
調査圃場 40圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、たまねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	ハスモンヨトウ	少	並	アクセル フロアブル	100～ 300 L/10a	2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前 まで	3回以内
	ハスモンヨトウ	少	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
	べと病	少	並	ランマン フロアブル		2000倍	収穫3日前 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ブロッコリー	黒腐病	少	並	Zボルドー		500倍	-	-
	アブラムシ類	少	並	ヨーバル フロアブル		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	3回以内
ブロッコリー キャベツ	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	中	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
たまねぎ	べと病	少	並	リドミル ゴールドMZ		500～ 1000倍	収穫7日前 まで	3回以内

★べと病に注意しよう！

葉の発病だけでなく、ブロッコリーの花蕾にも発病しやすい時期のため注意が必要です。出蕾期の葉への感染がないか確認し、早期防除を心がけましょう。超極早生たまねぎを栽培されている方は特に注意しましょう。

★施設の換気を心がけましょう！

施設栽培では、保温のためハウスを締め切ることが多くなると、湿度が高くなり、病気が発生しやすくなります。天候に合わせて適度な換気をしましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第14号
発行日：令和5年11月10日

調査日 令和5年11月8日（水）
調査圃場 43圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、たまねぎ、にんじんなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、JA全農兵庫県本部、
農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	ハスモンヨトウ	少	並	アニキ乳剤	100～ 300L/10a	1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ハスモンヨトウ シロオビノメイ ガ	中	並	カスケード乳剤		4000倍	収穫3日前 まで	3回以内
	ハウレンソウケ ナガコナダニ	少	並					
キャベツ ブロッコリー	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	少	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
たまねぎ ねぎ	アザミウマ類	中	並	モスピラン顆粒 水溶剤（劇）		2000倍	収穫7日前 まで	3回以内 内

※劇毒物は引取り時に捺印が必要です。（シャチハタ不可）

★病害虫に注意しましょう！

- ・チョウ目害虫（ハスモンヨトウ・ヨトウムシ等）の発生が野菜類全般で引き続き確認されています。生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなるため早期防除を行いましょう。
- ・ブロッコリー等一部圃場では病気の発生も確認されました。降雨後は殺菌剤の予防的な使用を視野に入れて、圃場状況を確認して下さい。

★JA園芸化成S500 特別価格販売！

追肥等にぜひご利用ください！
保証成分 15-10-10-0.2
（チッソ-リン酸-カリ-ホウ素）
期間：R5年11月9日（木）～
R6年2月29日（木）まで
通常価格 4,550円（税込）

↓
3,380円（税込）

★詳細はお近くの支店または
グリーンセンターへ！



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散ないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第13号
発行日：令和5年10月13日

調査日 令和5年10月11日（水）
調査圃場 40圃場（軟弱、キャベツ、ブロッコリー、にら、にんじん、玉ねぎなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、神戸市西農業振興センター、農薬・肥料メーカー、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布 液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	シロオビノメイ ガ	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ	少	並	アクセルフロアブ ル		1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	コナガ	少	並			1000倍		
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	少	並	グレーシア乳剤		2000～ 3000倍	収穫7日前 まで	2回以内
	アブラムシ類	少	並	ランネート45DF		1000～ 2000倍	収穫7日前 まで	2回以内
青ネギ	アザミウマ類	少	並	グレーシア乳剤		2000～ 3000倍	収穫7日 前まで	2回以内

★病害虫に注意しましょう！

- 気温が下がり、害虫の増加が想定されます。発生初期の対応を心がけましょう。
- 降雨後は病気が広がりやすくなります。圃場の観察をして、適期予防に努めましょう。
- 軟弱野菜（小松菜）で「コナジラミ」の発生が各地で確認されています。登録農薬が少ないため、増殖源となるハウス周辺の雑草の管理と、作物残渣を枯らしてから処理するように努めましょう。

★雑草管理をしっかりしましょう

- ・ 一部圃場で雑草が多くみられました。
- ・ にんじんの発芽時や玉ねぎの定植直後に雑草が多いと、初期生育が抑制され品質の低下につながります。
除草剤を使用する場合は使用時期と土壌水分量に気を付けましょう。
- ・ 併せて追肥のタイミング等、栽培暦を参考に、適期に作業するように努めましょう



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第12号
発行日：令和5年9月29日

調査日 令和5年9月27日（水）
調査圃場 40圃場（軟弱、きゅうり、ねぎ、にら、キャベツ、ブロッコリーなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜	キスジノハムシ	少	並	プロフレアSC	100～ 300L/10a	2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
	コナガ	少	並	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	少	少	ディアナSC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ	中	並	プレオフロアブル		1000倍	収穫7日 前まで	2回以内
	コナガ	少	並					
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	中	並	ヨーバル フロアブル		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	3回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	プレバソン フロアブル5		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり	コナジラミ類	少	並	アフーム乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	うどんこ病	少	並	プロポーズ顆粒 水和剤		1000倍	収穫前日 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	少	増	スピノエース顆粒 水和剤		10000倍	収穫前日 まで	3回以内

★病害虫に注意しましょう！

- ・アザミウマ類・ヨトウムシ類の発生が見られます。発生を認めたら早めに防除し、発生源である周辺雑草や圃場内の除草作業を忘れず行いましょう。発生期間が長いので、発生初期より数回防除しましょう。
- ・小松菜にコナジラミ類の発生が見られます。ハウス周辺の雑草が発生源となるので、周辺雑草の除草を丁寧に行いましょう。また、コナジラミがついた作物残渣はハウス内で十分に枯らした後、ほ場外に出して処分して、コナジラミ類の拡散を防止しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第11号
発行日：令和5年9月15日

調査日 令和5年9月13日（水）
調査圃場 41圃場（軟弱、きゅうり、なす、キャベツ、ピーマン、など）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	カスケード乳剤	100～ 300L /10a	4000倍	収穫3日 前まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	モスピラン顆粒水 溶剤（劇）		2000倍	収穫7日 前まで	3回以内
なす	ハダニ類	中	並	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
キャベツ	ハスモンヨトウ コナガ	少	増	ディアナ SC		2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ブロッコリー (はなやさい類)	ハスモンヨトウ	少	並	ブロフレア SC		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
とうもろこし	アワノメイガ	少	並	パダン粒剤4	6kg/10a 株の上か ら均一に散粒する		収穫7日 前まで	2回以内

★病害虫に注意しましょう！

夜温が下がり、害虫の増加が想定されます。発生初期の対応を心がけましょう。

① ハスモンヨトウ

生育ステージが進むと薬剤が効きにくくなるため早期防除を行ってください。

② 雑草対策

圃場の周辺雑草がアザミウマ類やコナジラミ類等、害虫のすみかとなってしまいます。農作物への加害を防ぐために、周辺雑草の管理を徹底しましょう。



★天候の変化に注意しましょう

今後は台風を含め、気温や降雨が不安定になりやすい時期です。早め早めに圃場の準備をするように心がけましょう。

- ・圃場の排水対策
- ・耕耘・畝たて等の管理 等

晴れ間が続くときは、農作物が小さいうちは特に水管理に注意しましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第10号
発行日：令和5年8月25日

調査日 令和5年8月23日（水）
調査圃場 35圃場（軟弱、きゅうり、なす、スイートコーン、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球アブラナ科葉菜類	キスジノミハムシ	少	並	プロフレア SC	100～ 300 L/10a	2000～ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ナス	コナジラミ類	少	並	モベントフロアブル		2000 倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり	褐斑病	中	並	アミスター20 フロアブル		2000 倍	収穫前日 まで	4回以内
ピーマン	オオタバコガ	少	増	アフーム乳剤		2000 倍	収穫前日 まで	2回以内
スイートコーン	オオタバコガ	少	増	プレバゾンフロアブル5		2000 倍	収穫前日 まで	3回以内
	アワヨトウ	少	増	アグロスリン乳剤 (劇)		1000 倍	収穫7日 前まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶剤 (劇)		4000 倍	収穫7日 前まで	3回以内

★高温による害虫の増加に注意！

兵庫県の病害虫発生予察防除情報第6号（8/10発表）では
ハイマダラノメイガ（別名：ダイコンシンクイムシ）の多発傾向がみられると発表されています。

★アブラナ科野菜の生育初期に生長点付近を食害し、深刻な被害を与えるため、**育苗期**や定植後の防除対策を徹底してください。

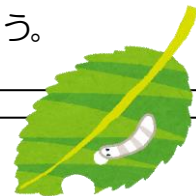
★加害を確認してからの対策では手遅れとなりますので、**予防的防除**に努めましょう。
(例：ミネクトデュオ粒剤、スタークル粒剤、プロフレア SC、グレーシア乳剤 等がありますが、必ず対象品目、使用方法・量・時期等を確認して使用してください。)

★今回の調査ではその他チョウ目害虫も確認されています。併せて防除を行いましょう。



★栽培後の片付けを早めにしましょう。

- ・害虫が増殖しやすい時期です。
- ・収穫期間終了後の植物体や、乾燥していない残渣は**病害虫の発生源**になります。周囲への病害虫の飛散や、次作への影響が懸念されますので、**早めに片付け**ましょう。
- ・片付けるのが難しい場合は、**株元を切って枯死させる**など、植物体を生きたまま放置しないように努めましょう。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第9号
発行日：令和5年8月10日

調査日 令和5年8月9日（水）
調査圃場 30圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球アブラナ科葉菜類	ハマダラカメカ	少	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500～ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	並	スタークル顆粒水 溶剤		2000倍	収穫3日 前まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	並	モスピラン顆粒 水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日 まで	3回以内
なす	ハダニ類	少	並	グレーシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	斑点細菌病	少	並	カスミンボルドー		1000倍	収穫前日 まで	5回以内
えだまめ	カメムシ類	中	並	モスピラン顆粒 水溶剤(劇)		4000倍	収穫7日 前まで	3回以内
	ハダニ類	少	並	コテツフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	2回以内

★定植後の水分量に注意！

高温・乾燥が続いています。
定植前には圃場に水をたっぷり与え、定植後の苗が活着するまでは、普段より水やりをしっかりとしましょう。
谷水をとる場合は、植えてすぐは根が伸びていないので、多めに水をとるようにして下さい。

★果菜類の尻ぐされ対策をしましょう。

今回の巡回圃場では果菜類の尻ぐされ症状（石灰欠乏）が多く確認されました。
高温で根が弱り、土壌中の石灰（カルシウム成分）が吸えないことが原因の生理障害です。
カルシウム剤（例：カルプラス 等）を週1回程度葉面散布するなどして、予防しましょう。※生理障害が既に出ているものを治すものではありません。

★台風シーズンに事前に備えましょう！

- ・排水路の点検、掃除をしておきましょう。
 - ・果菜類では支柱、誘引線等の点検、補強を実施し、台風前に果実を早めに収穫する等被害の軽減に努めましょう。
 - ・施設周辺の飛散しそうなものの撤去、被覆資材等の点検、補修をしておきましょう。
- ☆安全を最優先し、強風時は作業しないでください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

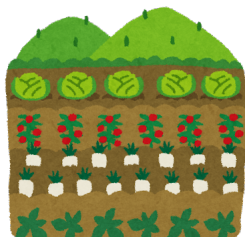
令和5年度 第8号
発行日：令和5年7月28日

調査日 令和5年7月26日（水）
調査圃場 30圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな 科葉菜類	キスジノミハムシ	少	増	アニキ乳剤	100～ 300L/10a	1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ねぎ	アザミウマ類	少	増	グレースシア乳 剤		2000～ 3000倍	収穫7日 前まで	2回以内
きゅうり	ハダニ類	少	増	コテツ フロアブル(劇)		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	褐斑病	少	並	アミスター20 フロアブル		2000倍		4回以内
なす	ハダニ類	少	増	コロマイト乳 剤		1500倍	収穫前日 まで	2回以内
ピーマン	斑点細菌病	少	並	カスミンボル ドー		1000倍	収穫前日 まで	5回以内
トマト	コナジラミ類	少	並	アニキ乳剤		1000～ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	中	並	スタークル顆 粒水溶剤		2000倍	収穫7日 前まで	2回以内

★高温期の灌水に注意！

- ・高温・乾燥が続いています。水が不足すると害虫の発生を助長します。適切なタイミングで灌水を実施しましょう。例：朝夕の涼しい時間帯
- ・日中に貯まった水がお湯になってしまうと作物が傷みます。畝間灌水をする場合は水を貯めてしまわないように注意しましょう。



★収穫の終わった作物は早めに片付けましょう。

- ・収穫の終わった作物を圃場に長く置いておくと、病害虫の密度が高くなり、周囲の圃場や次作へ影響することがあります。収穫終了後はなるべく早めに圃場の片づけを実施しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第7号
発行日：令和5年7月19日

調査日 令和5年7月12日（水）
調査圃場 31圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター
NOSAI、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類	キスジノミ ハムシ	甚	増	プロフレアSC	100～ 300L/10a	2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
なす	ハダニ類	多	並	コテツフロアブル		2000倍	収穫前日まで	4回以内
トマト	葉かび病	中	並	アフェットフロア ブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
	うどんこ病	中	並			2000～ 4000倍		
きゅうり	アブラムシ類	少	並	モスピラン 顆粒水溶剤		2000～ 4000倍	収穫前日まで	3回以内
ピーマン	アブラムシ類	少	並	スタークル顆粒水 溶剤		3000倍	収穫前日まで	2回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	ダントツ水溶剤		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内

★高温・乾燥による害虫の発生に注意！

高温・乾燥による害虫の発生増加が懸念されます。

特に「アブラムシ類」、「ハダニ類」、「アザミウマ類」等の発生に気を付け、初期防除を行うなど早めの対応を心がけて下さい。



★急激な環境変化を減らしましょう。

曇天で多湿状態が続くことで、野菜類全般において根の張りが悪くなっています。

梅雨が明けて急に高温になると、作物がしおれやすくなります。

根張りが悪い状態で一気に灌水すると作物が傷みますので、暑い時間帯を避けて、少量の水を複数回に分けてやる「少量多灌水」を心がけましょう。



★7月21日(金)・22日(土) 夏の感謝祭開催！

場所：神戸西営農総合センター

★各種展示販売

★栽培講習会

13:30～抑制スイートコーン

15:00～冬どり玉ねぎ

(参加者には特典をご用意しております)

★肥料空袋・農薬空ボトル・廃プラスチック回収(委任状が必要です)

皆様のご来場をお待ちしております！



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第6号
発行日：令和5年6月23日

調査日 令和5年6月21日（水）
調査圃場 32圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、JA全農兵庫県本部、神戸市西農業振興センター、NOSA I、農薬・肥料メーカー、JA兵庫六甲
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜 水菜	キスジノミハムシ	少	増	アクセルフロアブル	100～ 300L/10a	1000倍	収穫前日 まで	3回以内
きゅうり	アザミウマ類	少	並	モベントフロアブル		2000倍	収穫前日 まで	3回以内
ピーマン	アザミウマ類	少	並	グレースシア乳剤		2000倍	収穫前日 まで	2回以内
	斑点細菌病	少	並	カスミンボルドー		1000倍	収穫前日 まで	5回以内
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	少	並	モスピラン顆粒水溶 剤（劇）		2000～ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
えだまめ	カメムシ類	少	並	スタークル顆粒水溶 剤		2000倍	収穫7日 前まで	2回以内
モロヘイヤ	ハダニ類	少	並	ダニトロン フロアブル	150～300 L/10a	2000倍	収穫7日 前まで	1回

★ナメクジやカタツムリの被害に注意！

管内全域でナメクジ等の被害が多発しています。

- ・ハウスのすそ等の隙間をなくす。
- ・ハウスの周りを除草する。

など、いま一度栽培環境を確認しましょう。

また、被害の出ている圃場では異物として混入しないよう、出荷調整時にしっかり確認しましょう。

併せて、暑くなってくると作物も傷みやすくなってきますので、株元のすけるけ等がないかも確認して下さい。



★7月21日(金)・22日(土) 夏の感謝祭開催！

★各種展示販売

★栽培講習会（参加特典あり！）
7/21（金）

13:30～抑制スイートコーン

15:00～冬どり玉ねぎ

★肥料空袋・農薬空ボトル・廃プラスチック回収

※必ず委任状をご持参ください。



詳しくは営農総合センターや支店にお問い合わせください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第5号
発行日：令和5年6月9日

調査日 令和5年6月7日（水）
調査圃場 37圃場（軟弱、きゅうり、スイートコーン、トマト、ピーマン、えだまめなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、神戸市、JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜 水菜	キスジノミ ハムシ	少	並	プロフレアSC	100～ 300L/ 10a	2000～ 4000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	べと病	少	並	アリエッティ水和剤		1500 倍	収穫前日 まで	2回以内
にら	アザミウマ類	少	並	スピノエース顆粒 水和剤		10000 倍	収穫前日 まで	3回以内
ピーマン	ハスモンヨトウ	少	並	ディアナSC		2500～ 5000 倍	収穫前日 まで	2回以内
	アザミウマ類	少	並					
えだまめ	カメムシ類	中	並	カスケード乳剤	4000 倍	収穫前日 まで	2回以内	

★圃場の排水を再確認しましょう！

梅雨入りし、大雨や台風被害が今後も予想されます。

- ・排水の悪い圃場は、乾いたタイミングで谷をさらって水が流れることを確認しましょう。
- ・前回の大雨でごみが詰まっていないか、落としまでしっかり水が流れているか圃場全体を確認しましょう。

★降雨後の湿害に気を付けましょう！

- ・湿害で根が傷んだ状態で追肥等をするると逆効果になります。
- ・降雨による湿害と高温による乾燥が交互に継続すると野菜が弱ってしまいます。

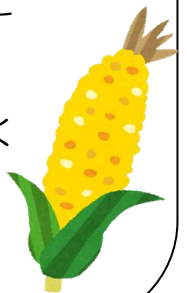
★液肥を薄めに希釈して葉面散布するなど、草勢の維持に努めましょう。

★スイートコーンの生育障害

が確認されています。

- ・雄穂（おばな）と雌穂（めばな）の開花タイミングが大きくずれる現象が各地で確認されています。
- ・春先の日照不足や低温が原因と考えられています。

★タイミングが大きくずれると結実しにくくなります。
・圃場を見る際は注意して観察し、タイミングが大きくずれている場合は収穫時に品質をしっかりチェックして出荷してください。



部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第4号
発行日：令和5年5月26日

調査日 令和5年5月24日（水）
調査圃場 38圃場（軟弱、きゅうり、なす、トマト、にら、ピーマンなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
小松菜 チンゲンサイ	キスジノミ ハムシ	少	並	アニキ乳剤	100~ 300L/10a	1000~ 2000倍	収穫前日 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	中	増	ディアナSC		2500~ 5000倍	収穫前日 まで	2回以内
なす	ハダニ類	中	並	コテツフロアブル (劇)		2000倍	収穫前日 まで	4回以内

* 今回の予察では病害虫の発生は多く見られませんでした。今後の気象状況に注意して、圃場の様子を確認するようにお願いいたします。

★カタツムリ・ナメクジ被害に注意！

ハウス栽培でカタツムリやナメクジによる被害が発生しています。発生時にはハウスの侵入口付近や作物近辺等に薬剤を均一に処理してください。薬剤が作物にかからないように注意してください。薬剤:スラゴ



★梅雨入りの準備をしましょう！

今年は平年より早い梅雨入りが予想されています。晴れた日を有効活用して、大雨対策等に努めましょう。

- ・排水路や谷を掃除して、きちんと水が流れるようにする。
- ・芽かき、葉かきなどの適切な栽培管理で空気の通りを良くする。

また、大雨が降った後は病気が広がりやすい状態になりますので、殺菌剤等で初期防除に努めましょう。

農業生産資材高騰緊急対策支援事業

★大収穫！こうべハーベスト

肥料とりまとめ 実施！

★事業対象者

神戸市内在住の販売農家等

★とりまとめ期間

6月1日(木)~6月30日(金)

※専用の注文用紙にて最寄りの

JA各支店へご注文ください。

★商品の引き渡し

8月~9月予定(引き取り限定)

※数量限定

※秋冬作の作付面積10aあたり6袋上限

詳細につきましては、最寄りのJA各支店へお問い合わせください。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。

農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第3号
発行日：令和5年5月10日

調査日 令和5年5月10日(水)
調査圃場 42圃場(軟弱、トマト、スイートコーン、なす、たまねぎ、えだまめ、にらなど)
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

予察結果の概況と対応

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または使用量)	使用時期	本剤の使用回数
小松菜・水菜	キスジノミ ハムシ	少	増	プロフレア SC	100~ 300L/10a	2000~ 4000倍	収穫前日 まで	3回以内
ほうれんそう	ホウレンソウ ケガコナダニ	少	並	ディアナ SC		2500倍	収穫前日 まで	2回以内
	べと病	少	並	ランマンフロアブル		2000倍	収穫3日前 まで	3回以内
ねぎ	ネギアザミウマ	中	増	アニキ乳剤		1000倍	収穫3日前 まで	3回以内
にら	アザミウマ類	中	増	モスピラン 顆粒水溶剤(劇)		4000倍	収穫前日ま で	3回以内
なす	ハダニ類	少	増	カスケード乳剤		2000倍	収穫前日 まで	4回以内
いちご	アブラムシ類	少	並	アディオン乳剤		3000倍	収穫前日 まで	5回以内

今回発生は確認されませんでした。スイートコーンで「アワノメイガ」や「オオタバコガ」の発生が予想されます。プレバソフロアブル5(2000倍、収穫前日まで、3回以内)等で防除しましょう。

★害虫の増加に注意！

気温の上昇に伴い、キスジノミハムシやアザミウマ類などの害虫の増加が予想されます。

- ・こまめに圃場を確認し、発生の予防や発生初期の薬剤散布に努めましょう。
- ・畦畔の草刈り後に害虫が近隣圃場へ移動することが考えられます。侵入経路を塞ぐなど対策をしましょう。



★降雨後の対策をしましょう！

- ・気温の上昇と降雨が重なるとハウス内は高温多湿となり病気の発生が助長されます。過繁茂に気を付け、空気の入れ替えや初期防除を徹底しましょう。
- ・特に大雨の後には傷口から病気になりやすいので、殺菌剤を散布して予防しましょう。



★玉ねぎべと病の発生圃場は適切に処理しましょう！

- ・多くの圃場でべと病の発生が確認されました。罹病株は抜き取り、ビニールに密閉して圃場の外で処分しましょう。圃場にすき込むと次回以降の作で感染源となりますので、やめましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和5年度 第2号
発行日：令和5年4月26日

調査日 令和5年4月26日（水）
調査圃場 39圃場（軟弱、にら、トマト、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	少	並	カスケード乳剤	100～ 300L/10a	4000倍	収穫3日前 まで	3回以内
いちご	ハダニ類	少	並	ニッソラン 水和剤		2000～ 3000倍	収穫前日 まで	2回以内
レタス	菌核病	少	並	アミスター20 フロアブル		2000倍	収穫7日前 まで	4回以内
たまねぎ	べと病	多	増	ジマンダイセン 水和剤		400～ 600倍	収穫3日前 まで	5回以内
	白色疫病	中	並	ジマンダイセン 水和剤		400～ 500倍	収穫3日前 まで	

【引き続きたまねぎのべと病に注意！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。降雨により伝染が助長されるので、圃場をよく観察し注意して下さい。

◆対策◆

- 罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分しましょう。周辺半径2m程の株については特に注意して確認してください。
- 薬剤散布をしていない圃場では、発生の有無にかかわらず薬剤防除を行いましょう。予防が重要です。

【ハウス内の水管理・温度管理に注意！！】

ハウス内の気温や湿度の上昇による病気の発生を防ぐため、換気等で適切な水管理・温度管理を行いましょう。密植・過繁茂も病気の発生を助長するので注意しましょう。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにしましょう。

野菜病害虫発生予察情報

令和4年度 第1号
発行日：令和5年4月18日

調査日 令和5年4月12日（水）
調査圃場 34圃場（軟弱、にら、ねぎ、たまねぎ、いちごなど）
調査機関 神戸農業改良普及センター、全国農業協同組合連合会兵庫県本部、
神戸市西農業振興センター
発行 JA兵庫六甲神戸西営農総合センター・各支店
JA兵庫六甲神戸西営農総合センター

品目	適用病害虫	発生程度	発生予想	薬剤	散布液量	希釈倍数 (または 使用量)	使用時期	本剤の 使用回数
ほうれんそう	ハウレンソウ ケナガコナダニ	中	並	ディアナSC	100～ 300L/10a	2500倍	収穫前日 まで	2回以内
	べと病	-	増	ライメイ フロアブル		2000～ 4000倍	収穫7日前 まで	2回以内
レタス	アブラムシ類	-	増	アディオソ乳剤		2000～ 3000倍	収穫3日前 まで	5回以内
たまねぎ	べと病	中	増	ランマン フロアブル		2000倍	収穫7日前 まで	4回以内

【たまねぎのべと病に注意！！】

多くのたまねぎの圃場でべと病の発生が見られました。今後も発生の好適な環境と予想されていますので、圃場をよく観察し注意して下さい。

◆対策◆

- 罹病した株は、直ちに抜き取りビニールに密閉して圃場の外で処分する。周辺半径2m程の株については特に注意して確認してください。
- 薬剤散布をしていない圃場では発生の有無にかかわらず、薬剤防除する。

【害虫の発生に注意！！】

今後、気温が上がっていくにつれて害虫の生育周期が短くなります。薬剤抵抗性を持たせないように薬剤をローテーションで用いて防除を行いましょ。また、圃場内の寄主になる雑草も増えてきますので、こまめな除草を行いましょ。

【昨年同時期に下記品目で病害虫が確認されています。】

ほうれんそう・・・べと病

レタス・・・アブラムシ類

今後発生が考えられるため早期防除を心掛けましょ。

部会では薬剤の種類・散布回数に独自制限がありますので注意してください。
農薬散布は使用方法を必ず守り、近隣作物へ飛散しないようにましょ。